



一中通信

2026(令和8)年10月

第5号

発行責任者:影田博徳



後期が始まりました

厳しかった残暑がようやく落ち着き、秋の風が心地よく感じられる季節になりました。空が高く澄み渡り、木々が色づくように、みなさんの心も豊かに成長していることと思います。秋は自然の恵みが豊かに感じられる時期とともに、「スポーツの秋」、「読書の秋」、「芸術の秋」などにたとえられます。一中生にも自分なりの「秋」を見つけ、「実りの秋」にしてみたいと思います。

瞬く間に前期が終了し、いよいよ後期が始まりました。令和8年度も折り返し地点を過ぎた今、再度、自分自身を振り返って後半もより実り多いものとなるよう頑張ってください。

3年生の皆さん、1回目の基礎学力テストも終わり、いよいよ受検という文字が身近になってきました。日々の受験勉強は大変だと思います。目には見えないプレッシャーを感じていると思います。中学校最後の体育祭や文化祭を全力で取り組みながら仲間との絆を深め、91名全員で助け合いながら力を伸ばしてください。

2年生の皆さん、南部ブロック新人大会でチームの中心となり活躍する姿に成長を感じました。今までは、3年生について行けばよかったのが、今度は部全体をまとめ引っ張っていく立場です。思うようにならなくて、悩むことも多いと思いますが、それは成長している証拠です。様々な経験を通して、最上級生への準備をしっかりとしてください。

最後に、1年生の皆さん、中学校生活にもすっかり慣れて、ずいぶんたくましさが増してきました。ただ、慣れることには良い面とそうでない面があります。入学したときの新鮮な気持ちを思いだし、これからも「やってみよう!」の気持ちを大切に、たくさんの経験を積んでください。失敗も成長への第一歩です。自分を信じて、前に進んでほしいと思います。

実りの秋、みなさんの心にもたくさんの「できた!」という実がなりますように。

南部ブロック新人大会

10月3日・4日の二日間、南部ブロック新人大会が各会場で開催されました。夏に先輩から受け継いだバトンをしっかり守り抜き、堂々と戦う一中生の姿にたくましさを感じました。これから県の新人大会が控えています。一中生の勇姿を期待しています。また、休日にもかかわらず応援に来てくださった保護者の皆様、本当にありがとうございました。これからも応援よろしくお願いします。



感謝

